



シルバーカー サニーウォーカー 〔取扱説明書〕〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
⚠️この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。（手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。）
使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し購入されることをお勧めします。
なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、充分ご理解された上、ご使用ください。

目 次

警告事項・・・・・・・・・・	1	ブレーキの調整方法・・・・・・・・	5
注意事項・・・・・・・・・・	1~2	キャスターの操作方法・・・・・・・・	5
各部の名称・・・・・・・・・・	3	腰掛け方・・・・・・・・・・	6
車体のひろげ方・折りたたみ方・・	4	傘止めバンドの使い方・・・・・・・・	6
ハンドルの高さ調節・・・・・・・・	5	こんな時には・・・・・・・・	6
ハンドブレーキの操作方法・・・・・・・・	5	保証書・・・・・・・・・・	7
駐車用ストッパの操作方法・・・・・・・・	5	SGマーク・・・・・・・・・・	7

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所

サービス係

☎06-6793-0991

ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、ご自身の体調の状態でご判断ください。

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等すべりやすい所では使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑している所及び夜間に使用される際は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまづくと転倒する恐れがあります十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 段差を乗り越える時に、車輪を持ち上げた状態で使用しないでください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをおすすめします。
- 車体の組み立ておよび調整は確実に行ってください。
- 使用される場合は左右の固定用ロックに固定用ロックレバーが確実にかかっていることを確認してください。
- 片手で押して使用しないでください。
- ハンドルの高さ調節部（左右）が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体のみ前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパを左右両輪にかけ、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外の所には座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、タイヤおよびブレーキ金具の摩耗、押したときのグラつきについては十分確認して使用してください。
- 必ず固定用ロックが確実にかかっているかを確認してください。固定用ロックがかかっていないと車体が折りたたまれ大変危険です。

※ご使用中には

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。
- 最大使用者体重は 80kg です。ご使用される方の体重が 80kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- バッグの載荷重は 2kg です。2kg を超える荷物は載せないでください。
- 座面に人を乗せたままで押さないでください。
- 座面をおろした状態で押さないでください。
- 乳幼児、子供、動物をバッグ内に乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- 荷物はバッグ内の底部に収納してください。
- バッグ内に荷物を入れたまま、車体の組み立て・折りたたみ操作をしないでください。
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたまま操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 駐車用ストッパがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体からはなれるときは、必ず駐車用ストッパをかけてください。

※保管方法とお手入れについて

- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾かしてください。
- バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・バッグを拭かないでください。
- フレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず落としてください。
- 長時間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、日陰の場所で保存してください。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に数滴注油してください。注油後、回転および車体の組み立て・折りたたみ操作を 2～3 回くりかえしてください。
- 非常口や消火器の前に放置をしないでください。
- 定期的に各部（タイヤおよびブレーキなど）の破損、ゆるみ、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉚、ネジなどが緩んでいないかを確認してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

前輪キャスタータイプ

シルバーカー

サニーウォーカーAW-III

使用時サイズ：約 H86.5 ~ 94.5 × W43 × ①D53.5 ・ ②52.5 cm

(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態
②はキャスター回転止めレバーをおろした状態)

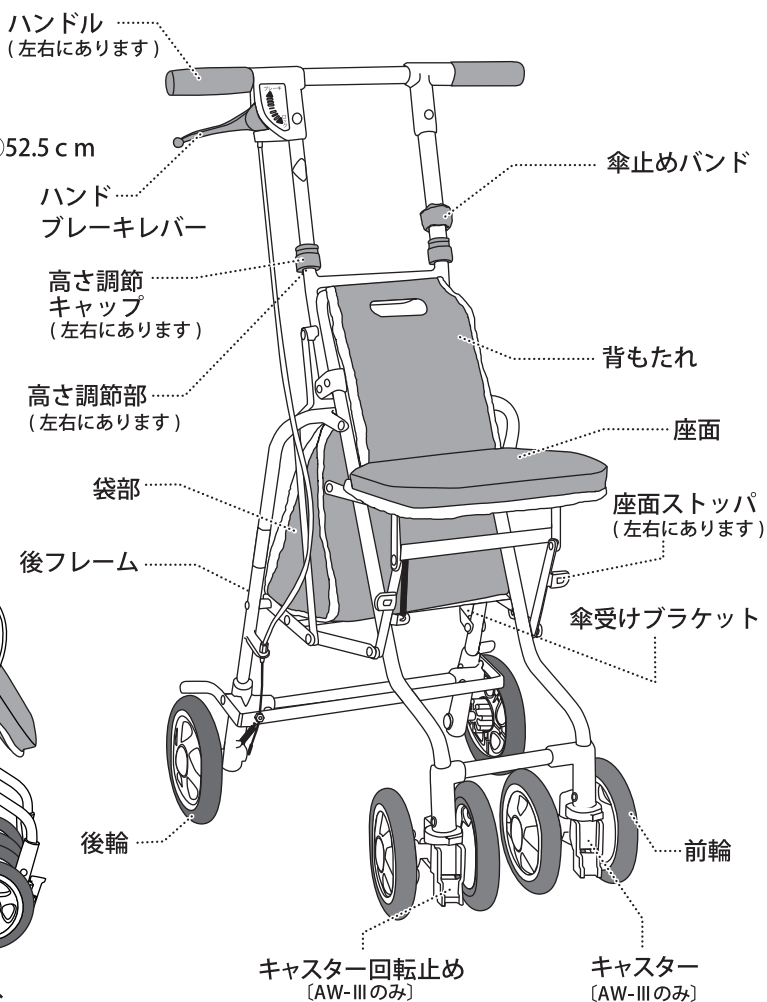
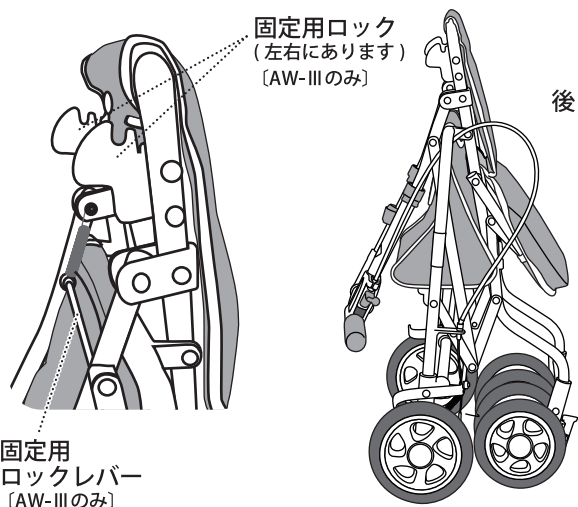
収納時サイズ：約 H68 × W43 × ①D35 ・ ②32.5 cm

(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態
②はキャスター回転止めレバーをおろした状態)

座面高さ：約 46 cm

バッグ載荷重：2 kg

重量：約 4.3 kg



前輪シングルタイプ

シルバーカー

サニーウォーカーAS-III

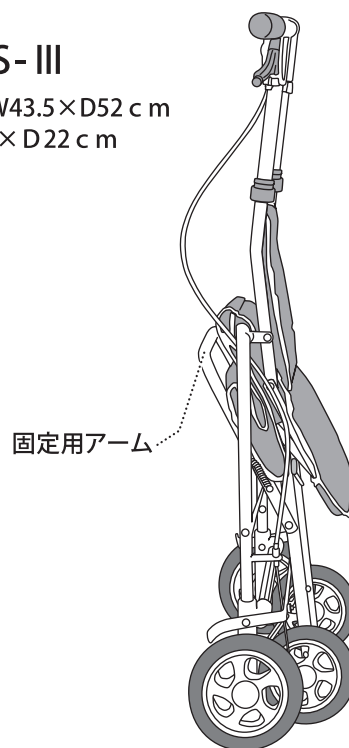
使用時サイズ：約 H85 ~ 93 × W43.5 × D52 cm

収納時サイズ：約 H91 × W43.5 × D22 cm

座面高さ：約 44 cm

バッグ載荷重：2 kg

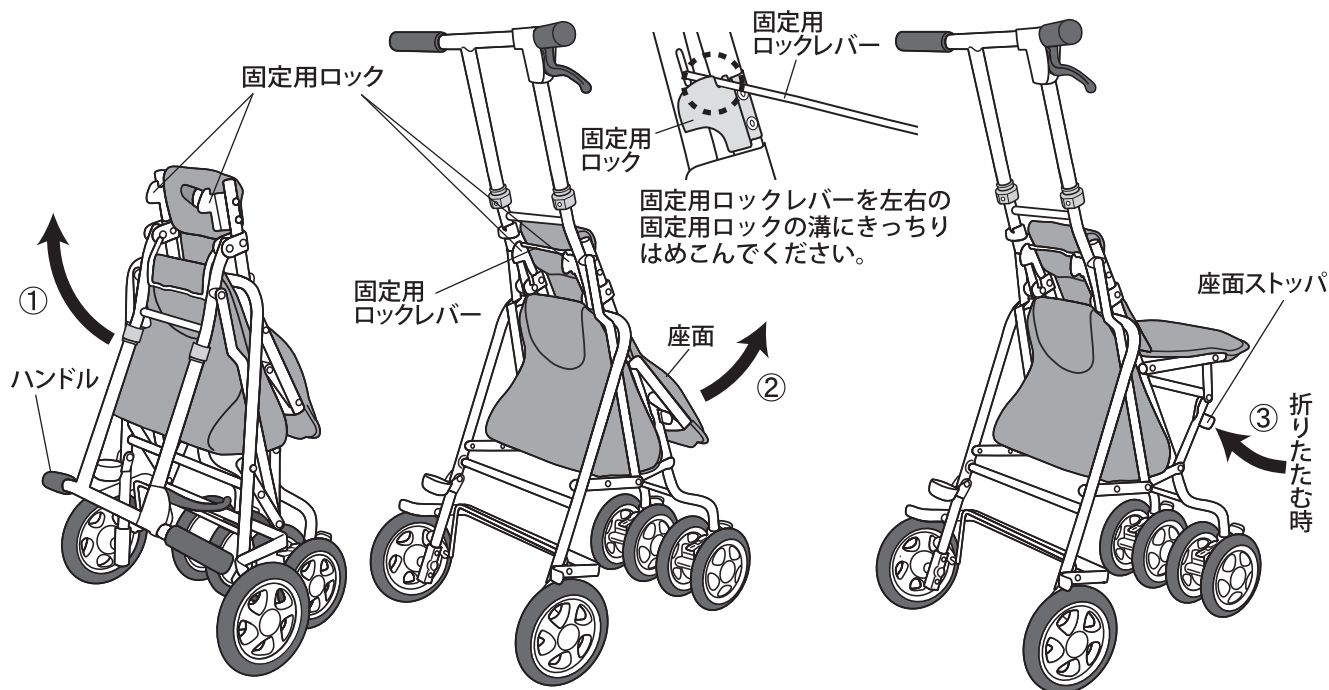
重量：約 3.3 kg



車体のひろげ方・折りたたみ方

サニーウォーカーAW-IIIの場合

- 1 ハンドルを持ち図の様に①の方向に起こしてください。
- 2 両側の固定用ロックがカチッと音がして左右が確実にかかっているか確認してください。
- 3 座面を②の方向に引き上げてください。完全に固定される所まで上げてください。ブレーキワイヤーなどが引っかかり広まらない場合がありますので注意してください。



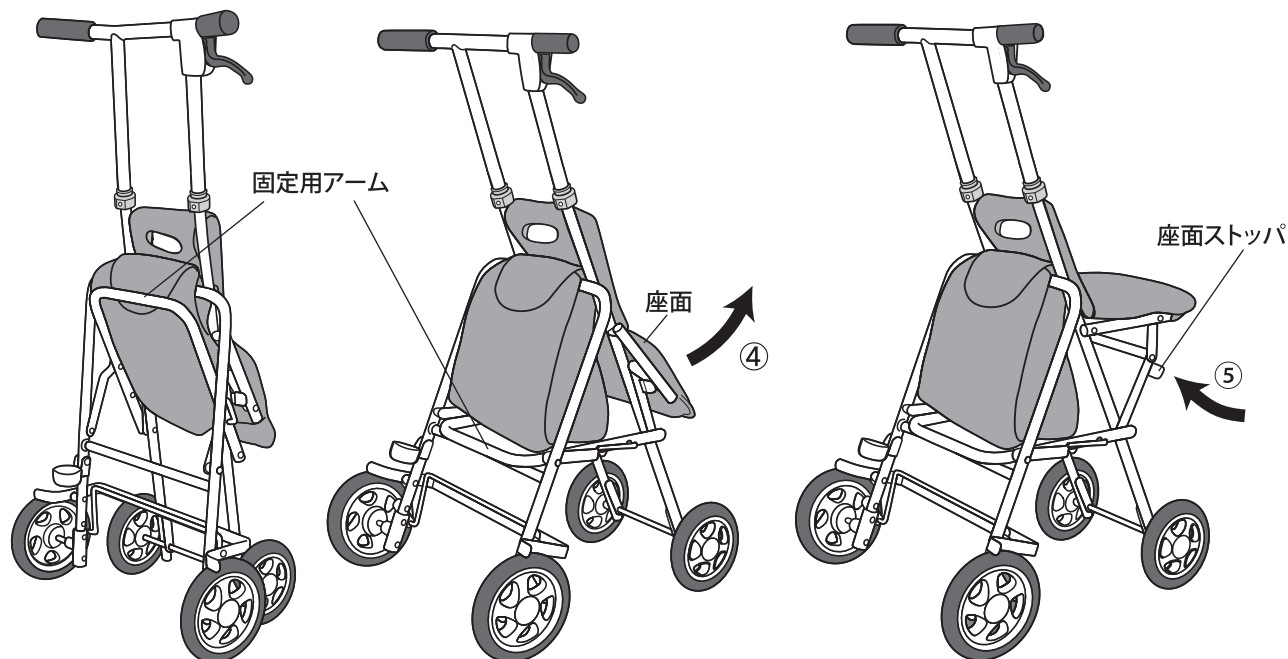
折りたたむときは、固定用ロックレバーを引き上げてからハンドルを後へ倒します。座面ストッパを③の方向に引くと座面がたためます。

- 注**
- 折りたたむ時、ブレーキワイヤーが折れ曲がらないように注意してください。ブレーキワイヤーが折れ曲がるとブレーキのききが悪くなります。
 - 左右の固定用ロックが確実にかかっているか確認してください。使用中、不意に折りたたまれる場合があります。
 - 座面を使用する場合、必ず座面ストッパが確実にかかっているか確認してから使用してください。

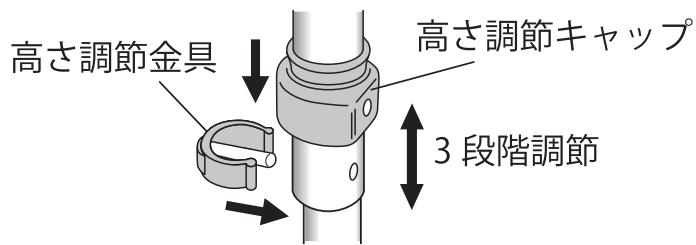
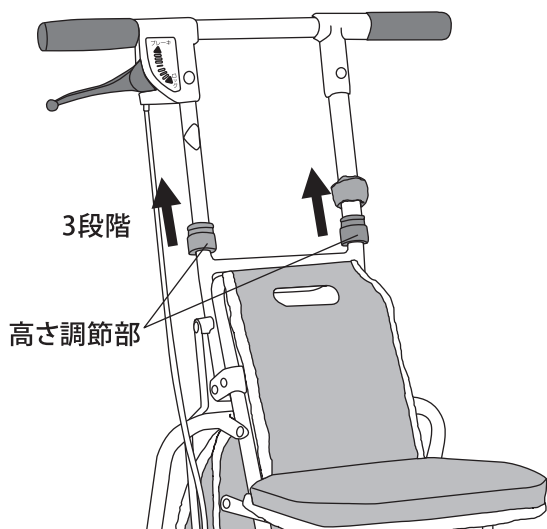
サニーウォーカーAS-IIIの場合

1. 固定用アームを下げますと車体が広がります。
2. 座面を④の方向に引き上げれば座れます。
3. 固定用アームを持ち上げますと折りたためます。
4. 座面ストッパーを⑤の方向に引くと座面が折りたためます。

- 注**
- バッグに物を入れたまま閉じないでください。
 - 車体をひろげたり折りたたまれる際、指をはさむ危険がありますので注意してください。



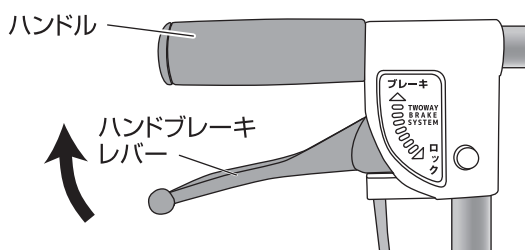
ハンドルの高さ調節



1. 左右の高さ調節キャップを上げてください。
2. 高さ調節金具を抜いてください。
3. 3段階から、お好みの高さに合わせたら、左右の高さ調節金具をしっかりはめこんでください。
4. 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。

- 注**
- 左右同じ高さであることを確認して固定してください。
 - 高さ調節を行う時、高さ調節金具が落ちないように注意してください。
 - ガタつきがないか確認してください。

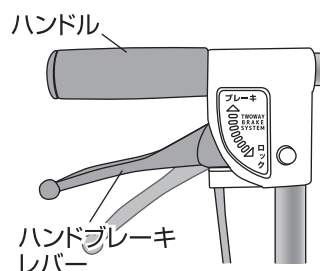
ハンドブレーキの操作方法



ハンドブレーキレバーをにぎれば、後輪（左右）にブレーキがかかります。

- 注**
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
 - ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようにはきかないので過信しないでください。
 - ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキがききにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

駐車用ストッパの操作方法

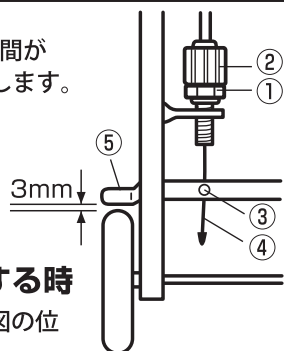


1. ハンドブレーキレバーを下に下げると、後輪にストッパがかかります。
2. ハンドブレーキレバーを上にあげると、駐車用ストッパが解除されます。

- 注**
- 駐車用ストッパのかかった状態（後輪がロックされた状態）で車体を押さないでください。
 - 座る場合や車体からはなれる場合は、必ず駐車用ストッパをかけてください。
 - 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道などでは腰掛けしないでください。
 - 駐車用ストッパのロックを解除する時は、ハンドブレーキレバーのはね返りで指や手をぶつけるおそれがありますので十分注意してください。

ブレーキの調整方法

ブレーキ金具と車輪のすき間が3mm位になるように調整します。



■ブレーキをきつくする時

- ②を回して調整し、①を上図の位置に戻してください。
- なお不十分な時は、②を最初の状態に戻し、③をゆるめてから⑤を車輪に近づけた状態でワイヤー④を引っ張って、③を締めてください。

■ブレーキをゆるくする時

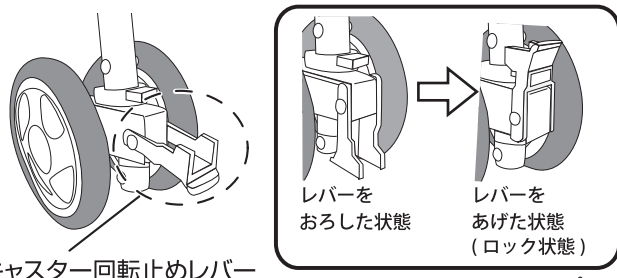
- ①をゆるめてください。
 - ②を回して調整してください。
- 調整が終われば①を締めてください。

キャストの操作方法

サニーウォーカー AW-IIIのみ

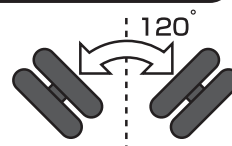
キャスト回転止めレバーをおろすと、曲る方向に力を入れれば左右 60° の角度で止まり、力を抜けば直進方向に戻ります。

キャスト回転止めレバーをあげるとロックされます。



キャスト回転止めレバー

- 注**
- キャスト回転止めレバーが左右同じ状態かを確認してください。

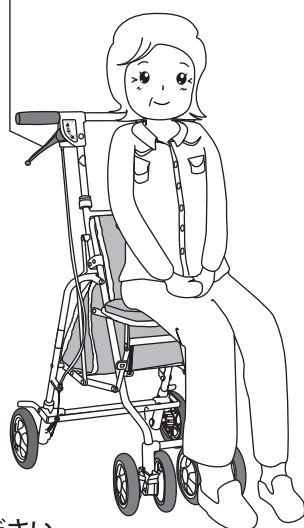


腰掛け方

注

- 両側の固定用ロックが正常にかかっているか確認してからお座りください。
- 必ず駐車用ストoppaをかけてからお座りください。
- 座面ストoppaが正確にかかっているかをご確認ください。
- 腰掛ける時は、均等に体重が加わる様に座面中央にお座りください。
- 浅く座ったり、背もたれに力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれる恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は 80kg です。
体重が 80kg を超えられる方はご使用になれません。

ハンドブレーキレバー

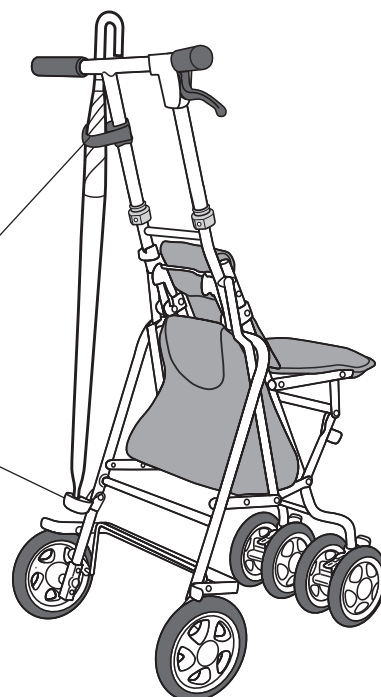


傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘に巻き固定してください。

傘止めバンド

傘受けブラケット



こんな時には・・・

状 況	原 因	対 処 方 法
ハンドルがグラグラと動く	<ul style="list-style-type: none"> ①左右の固定用ロックが確実にかかっていない ②ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ①両側の固定用ロックが確実にかかっているか確認してください ②ハンドル高さ調節部分の固定金具が、穴にきちんとセットされているか、確認してください
駐車用ストoppaまたはハンドブレーキが効かない	<ul style="list-style-type: none"> ①ブレーキ金具のねじれ、曲がり ②バネの劣化 ③タイヤの摩耗 ④車輪の破損 ⑤連結部のサビ ⑥ブレーキワイヤーの折れ曲がり 	<ul style="list-style-type: none"> ①ねじれ、曲がりを修正してください ②バネの交換（弊社サービス係へ） ③タイヤの交換（弊社サービス係へ） ④車輪の交換（弊社サービス係へ） ⑤注油する ⑥ブレーキワイヤーの交換（弊社サービス係へ）
キャスターが回転しない	<ul style="list-style-type: none"> ①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化 	<ul style="list-style-type: none"> ①キャスター（前輪）を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに油を差してください ②バネの交換（弊社サービス係まで）
その他、車輪の交換や車体の破損など		①弊社サービス係にて製品の修理または部品の交換を行います

万一、破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのまま使用せずに、弊社の点検・修理を受けてください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

MADE IN VIETNAM

28.05



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書